

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	強非線形問題の理論と応用小委員会		主 査 名：元結正次郎 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (応用力学運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：元結正次郎
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築構造における崩壊問題あるいは接触問題といった強い非線形性を有する問題に対して現在認知されている理論を整理するとともに、強非線形問題の範疇となる様々な実現象を解く場合の数値解法および解析モデルについて具体的事例を交えながら紹介するとともに、理論上あるいは解法上未だ課題として残されている事項について問題提起していく。</p> <p>初年度：前年度までにまとめてきた構造種別ごとの情報を基に大会PDを行い、再度執筆内容について検討する。</p> <p>2年度：粗原稿を作成し、章毎の記載事項や表現などの調整を行うとともに、追加記述すべき事項について検討する。</p> <p>3年度：刊行を目指した最終調整を行う。</p> <p>4年度：成果を題材にしたセミナーなどを実施する。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：元結正次郎 (東京工業大学) 幹事：大塚貴弘 (名城大学)・熊谷知彦 (明治大学) 委員：荒木慶一 (京都大学)・磯崎 浩 (日本建築センター)・小河利行 (東京工業大学)・寒野善博 (東京工業大学)・多田元英 (大阪大学)・長沼一洋 (日本大学)・三宅辰哉 (日本システム設計)・宮村倫司 (日本大学)・武藤 厚 (名城大学)・森迫清貴 (京都工芸繊維大学)・山下拓三 (防災科学技術研究所)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2016 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 計画からは少し遅れてはいるが、応用力学シリーズ原稿の小委員会内での査読に対して、各章追記事項や構成を再度修正し、運営委員会で査読頂いている。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 成果を刊行するにあたり、社会に受け入れられる内容・表現が課題である。